

熱のVoice ②

エキスパートチーム編

西部ガステクノソリューション株式会社

エネルギーサービス部 浅野事業所

浅野事業所を代表して、藤縄所長にインタビュー



後列左から：田中氏、名越副所長、藤縄所長
前列左から：立石氏、宮崎氏、先本氏、和田氏

「経験を財産に、安定供給と効率向上を追究していく」

御社の浅野事業所の主な業務内容を教えてください。

藤縄 当事業所では、北九州市のJR小倉駅北側にある浅野事業所（小倉駅周辺地域）を拠点に、5地点の熱供給センター（京町、岸の浦、黒崎、コムシティ、陣原）の遠隔監視をしています。主な業務は、浅野事業所を含む6地点での熱の安定供給と設備の維持管理です。日頃よりお客さまとの接点機会を多く持つように心掛けて、トラブルに繋がる小さな不具合を把握したり、突発的な不測の事態にも迅速に対応しています。



日々の巡回点検では設備の不具合の早期発見などを強く意識

業務目標と、目標達成のために努力されていることなどを教えてください。

藤縄 当事業所では、6地点の熱の安定供給かつ機器の効率アップが一番の目標です。全ての熱供給センターが、供給開始後15年以上を経過して老朽化が進んでいますので、設備の不具合の早期発見等を意識して日々巡回点検を行なうとともに、細かいことでも気付いたことがあれば、次のメンバーに勤務交代する時に必ず申し送りをし、所内での情報共有を図ることで、不具合や事故を発生させないように努めています。また、各所のメンテナンスや修繕など、年間スケジュール作成時に「立会い確認業務」を計画し、確実に間違いのない業務遂行に配慮しています。

お仕事の喜び、楽しさ、やりがいなどを伺わせてください。

藤縄 私は、京町熱供給センターのプラント立ち上げを皮切りに、弊社の北九州市内の全6地点のシステムに関わってきました。遠隔監視シス

テム導入や、プラント増設工事、機器更新工事など、内容は多岐にわたります。入社当時は右も左もわかりませんでしたが、熱の安定供給とエネルギー利用効率の向上を追究する私たちにとって、これらの経験が大きな財産になっています。

今後の目標をお聞かせ下さい。

藤縄 各熱供給センターでは、これから設備の更新工事を順次進めていきます。万が一のトラブルも未然に防げるよう、そして計画通りに工事が進むよう、精一杯取り組みます。そして、弊社の経営理念の一つ「私たちは、お客さまの満足を第一に考え、安全・安心をお約束する行動により信頼関係の構築に努めます」を心に、業務に邁進して参ります。

藤縄 正治氏 (Fujinawa Seiji) 略歴

1983年4月、西部冷温熱産業(株) (現・西部ガステクノソリューション(株)) 入社。北九州地区の各熱供給センターや設備更新時の現場担当等を経て、現在はエネルギーサービス部浅野事業所長として勤務。趣味は、ゴルフと気ままな山歩き (遭難しない程度で笑)。

(取材：松田浩嗣 広報委員)